

栃木県

災害ボランティアセミナー  
in 栃木 開催報告

平成31年1月21日（月）、とちぎ生きがいづくりセンターにて、栃木県と当協会主催による「災害ボランティアセミナー in 栃木」が開催されました。冒頭に主催者を代表して、栃木県県民生活部の石松危機管理監と当協会の廣澤事務局長が挨拶し、続いて認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事の栗田暢之氏による「災害とボランティア」相次ぐ災害の現場から」と題する講演と事例発表が行われました。

基調講演

13:40～14:40

災害とボランティア  
～相次ぐ災害の現場から～

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

自助・共助の大切さ、今後起こるであろう災害に対する災害対応力としての個人の備え、地域の絆の重要性等を講演頂いた。熊本地震等、被災現場の状況も紹介され、ボランティアをめぐる課題や問題点を浮き彫りにされた。

事例発表

14:50～15:20

私の災害ボランティア体験談  
～自分なりの支援のかたち～

災害ボランティアグループ「チームかぬま」

代表 山ノ井 濱市 氏

東日本大震災等被災地におけるボランティア活動の自身の体験を踏まえ、災害ボランティアに気軽に参加することの勧めについてお話し頂いた。



山ノ井 濱市 氏

東日本大震災を機に災害ボランティアに関わる。被災地支援や鹿沼市内でのボランティア活動を目的に平成24年、災害ボランティアグループ「チームかぬま」を設立し、平成30年まで宮城県の石巻市や山元町、福島県南相馬市において支援活動を行っている。その他、全国各地の豪雨災害でも支援活動を行っている。

事例発表

15:20～15:50

誰でもできる支援の和  
～被災地で学んだ大切なこと～

社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会

主査事務員 柴田 貴史 氏

社協での業務経験と自身のボランティア体験を通じて育まれたボランティアに対する考えをお話し頂いた。



柴田 貴史 氏

栃木県宇都宮市生まれ。平成5年の北海道南西沖地震をきっかけにボランティア活動に興味をもち、高校在学中、阪神・淡路大震災を機にボランティアを実践的に始める。平成13年、鹿沼市社会福祉協議会に入職。認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク災害担当理事、とちぎ災害ボランティア実践プロジェクト座長も務める。

